marantz®

Model TT8001 取扱説明書

Turntable

このたびはマランツ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解していただいた後、本文をお読みください。

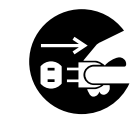
警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警告

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

- 製品に同梱しているACアダプターのみ使用してください。製品に同梱していないACアダプターは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。

注　意

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の特長

■ 高い回転性能の実現

高性能、高トルクダイレクトドライブモーター、高密度な光学式パルスエンコーダーによる速度検出、PLL クォーツ制御方式などの採用により高い回転性能を実現しました。

■ 超低共振アクリルシャーシー＆アルミダイキャスト製ターンテーブル搭載

20mm厚の高密度乳白色アクリルシャーシーを採用し、重厚なアルミダイキャスト製ターンテーブルを搭載することにより、振動の内部損失を高め、ターンテーブルの鳴きエコーを防止しました。

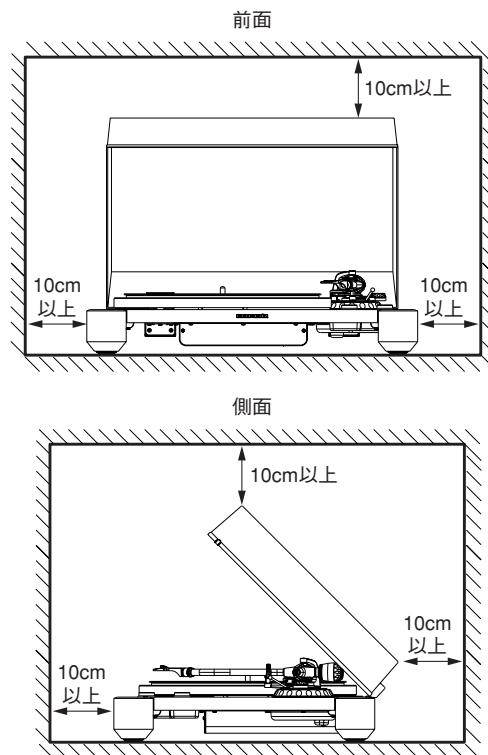
■ 超高純度（高導電率）無酸素銅線6N-OFC コード使用のトーンアーム装備

■ アルミ無垢のソリッド脚装備

ご使用の前に

■ 設置場所のご注意

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 本機を下図の通りに壁や他の機器等から10cm以上離して設置してください。

※ダストカバーを開いた状態

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流100Vをご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz地域または60Hz地域でご使用できます。

■ ご使用の前に

● ターンテーブルシャーシ及びターンテーブルが水平になる様に設置して下さい。

● 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の磨耗が早まります。柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

● ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。また、ハムやノイズはアースを正しくとらないと発生します。アース線をアンプのGND端子にしっかり接続してあるかどうかチェックしてください。

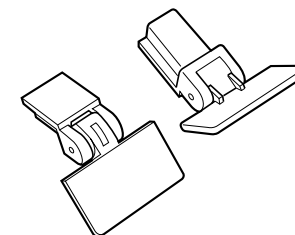
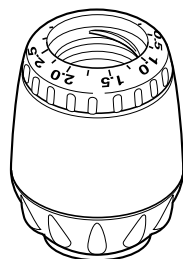
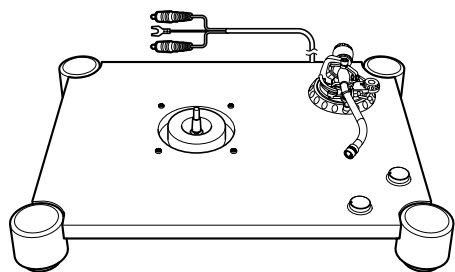
● チューナーとの設置について

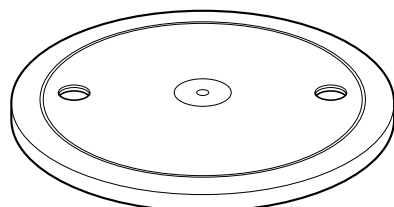
チューナーにてFMやAM放送を受信しているときに本機の電源が入っていると、FMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。このような場合には、本機をチューナーからできるだけ離してください。

付属品について

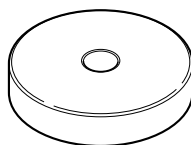
ご使用前に下記付属品を含めた部品が揃っていることをご確認ください。

①ターンテーブルシャーシ....................1

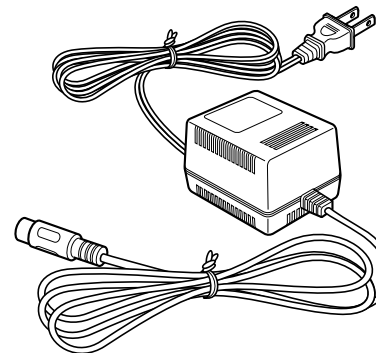
②ターンテーブル..................................1

③ターンテーブルシート.......................1

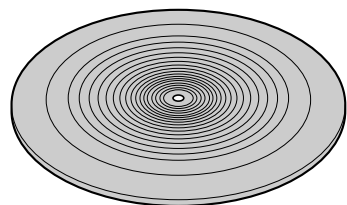
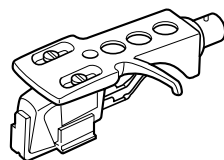
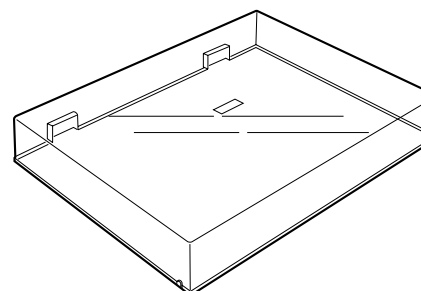
④カウンターウェイト...........................1

⑤45回転レコード用アダプター...........1

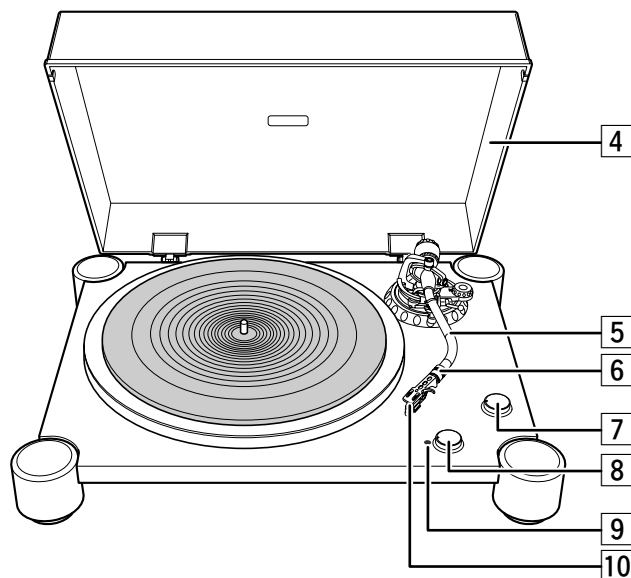
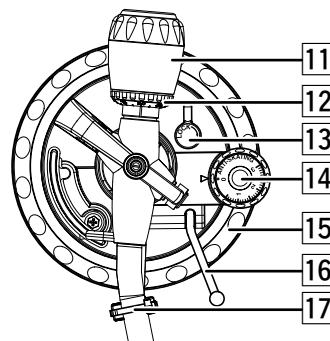
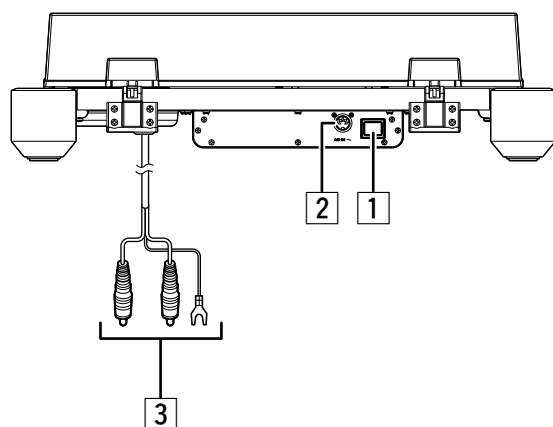
⑥カートリッジ付ヘッドシェル...........1

⑦カートリッジ用ブラシ.......................1

⑧ACアダプター(TT8001専用)............1

⑨ダストカバー.....................................1

⑩ダストカバー用ヒンジ.......................2

⑪取扱説明書（本書).............................1

⑫保証書(梱包箱に貼り付けられています)..1

各部の名称とはたらき

［前面］

［トーンアームベース部］

［後面］

1 電源ボタン（■ OFF 、▬ ON ）

電源をON／OFFします。
ボタンを押すとスタートスイッチ横のLEDが青色に点灯し、電源が入ります。もう一度押すとLEDが消灯し、電源が切れます。

2 AC IN 端子

付属のACアダプターのコネクターをこの端子に接続し、電源プラグを電源コンセントに接続します。

3 オーディオ・アースケーブル

ご使用になるアンプのPHONO入力端子へ接続します。

4 ダストカバー

ほこり、ちりなどから大切なレコードを守るカバーです。使用しないときは、ダストカバーを閉じてください。

5 トーンアーム

6 ロックナット

ヘッドシェルを取り付けるときに使用します。

7 スピード切り替えスイッチ

演奏するレコード盤の回転数に合わせて切り替えます。

- 33 1/3 回転レコード盤……「33」
- 45 回転レコード盤……「45」
- 78 回転レコード盤……「78」

8 スタート/ストップスイッチ（START/STOP）

このスイッチを「スタート」にするとターンテーブルが回転し、「ストップ」にすると停止します。

9 電源LED

後面の電源をONにすると青色に点灯します。

10 カートリッジ付ヘッドシェル

11 カウンターウェイト

トーンアームのバランスをとったり、針圧を調整するときに使用します。

12 針圧調整リング

針圧を調整するときに使用します。

13 アーム高さ固定ノブ

アーム高さ調整後に高さを固定する時に使用します。

14 アンチスケーティングつまみ（ANTI. SKATING ）

レコード演奏時、針先が内周へ引っぱられる力が発生しますが、このつまみを針圧と同じ数値に合わせることで、その力を打ち消します。

15 アーム高さ調整リング

トーンアームの高さを調整する時に使用します。

16 リフターレバー

トーンアームを上下させるときに使用します。

17 アームレスト

トーンアームをのせる時に使用します。

組み立て

ご注意

組み立てが完了するまで、電源コードを家庭用コンセントに差し込まないでください。

ターンテーブルの取り付け

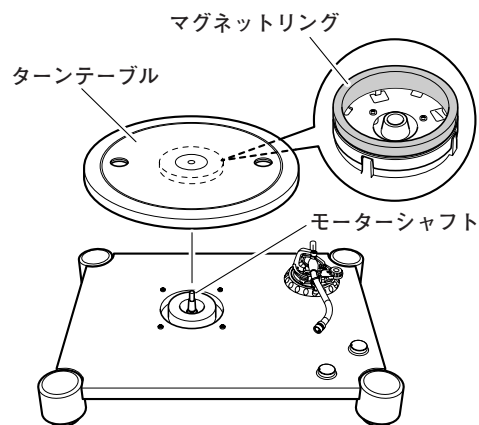
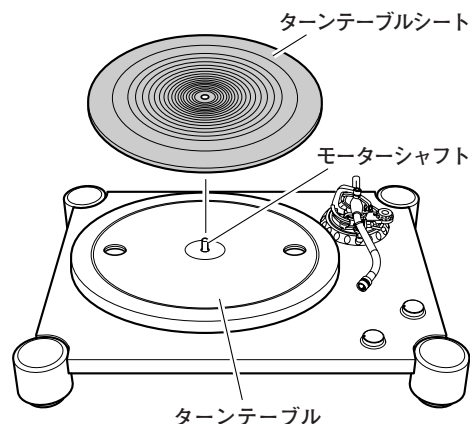
1. 梱包箱の中から、すべての部品を取り出します。

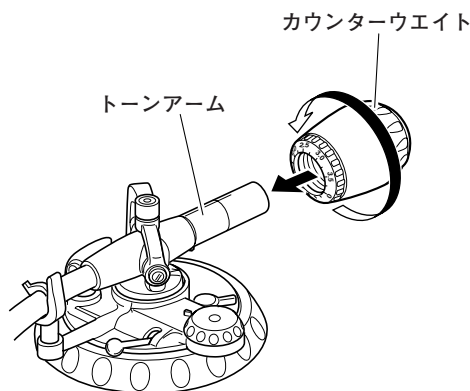
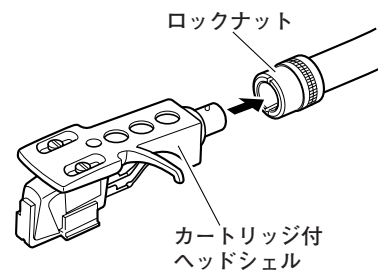
ご注意

部品を包んでいる梱包材を取り除くときは、床やテーブルなど安定した場所に置いて丁寧におこなってください。乱暴におこないますと、傷や変形の原因となります。

2. ターンテーブルをモーターシャフトに差し込みます。

ご注意

ターンテーブル裏面のマグネットリングに傷をつけないように注意してください。

3. ターンテーブルシートをターンテーブルのモーターシャフトに合わせてのせてください。

カウンターウェイトの取り付け

1. トーンアームの後部軸にカウンターウェイトを取り付けます。

ヘッドシェルの取り付け

1. カートリッジ付ヘッドシェルをトーンアームに差し込み、ロックナットでしっかり固定します。

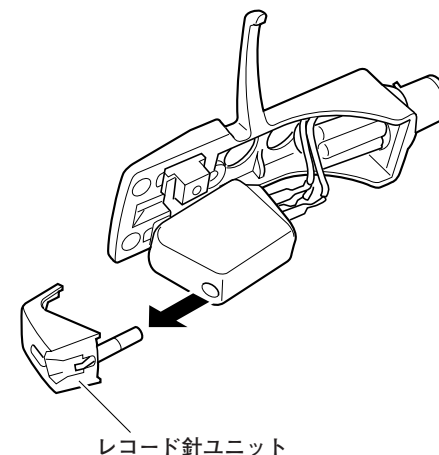
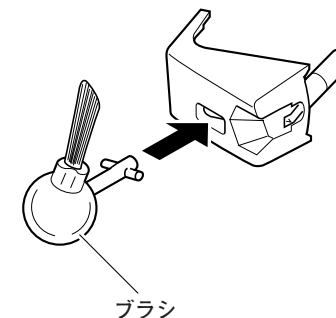
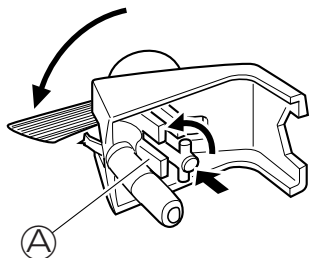
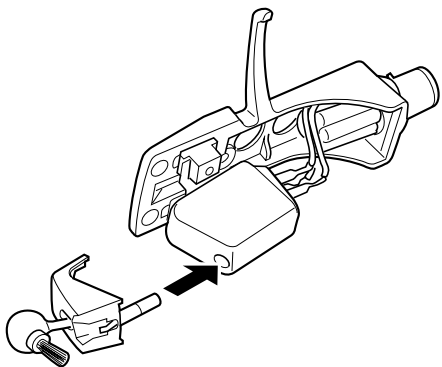
ご注意

- SPレコード再生には、SP専用カートリッジが必要です。付属のカートリッジでは再生できません。市販のSP専用カートリッジをご購入ください。
- 付属品と違うカートリッジをヘッドシェルに取り付ける時は、使用するカートリッジの取扱説明書等で取り付け方をご確認ください。

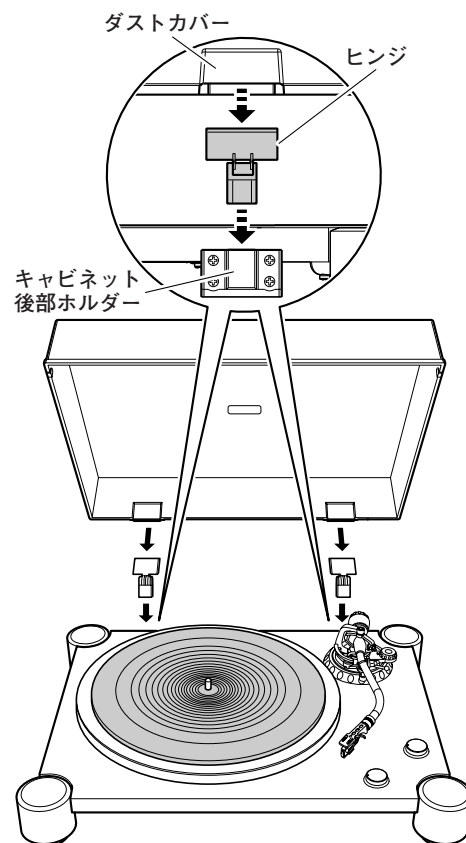
カートリッジ用ブラシの取り付け

※お好みに応じて取り付けてください。

レコード盤のクリーニングと保護をするためのカートリッジ用ブラシを付属しています。

1. レコード針ユニットをカートリッジ本体からスライドしながら慎重に外します。

2. レコード針ユニット前面の四角い穴にカートリッジ用ブラシを図の様に通します。

3. カートリッジ用ブラシを90°回転させ、レコード針ユニット内側のⒶ部分に固定します。

4. ブラシを取り付けたレコード針ユニットをカートリッジ本体に取り付けます。

ご注意

ブラシを取り付けたときは適正針圧を1g 加圧してください。

ダストカバーの取り付け

1. 付属のダストカバー用ヒンジ2個をキャビネット後部のホルダーにしっかり差し込んでください。

2. ダストカバーの角穴をヒンジに合わせ、矢印の方向にしっかり押し込んでください。

ご注意

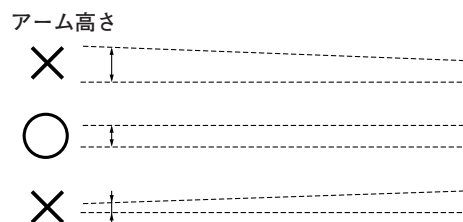
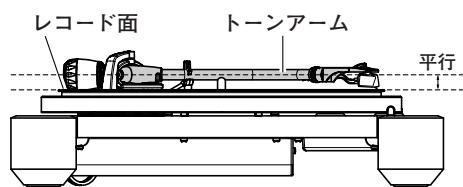
- ダストカバーを取り外す場合は、ダストカバーをいっぱいに開け、矢印と反対方向に引き抜いてください。
- ダストカバーの取り付け・取り外しの際は、ヒンジの近くを持つようにしてください。

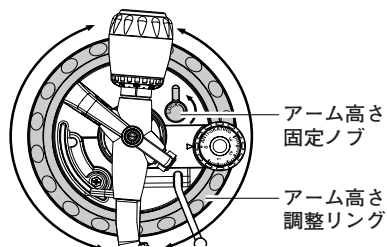
調整のしかた

ご注意

- 調整をおこなう前に、電源ボタンをOFFにしてください。
- ターンテーブルを床やテーブルなど水平で安定した場所に置いてください。

トーンアームの高さの調整

1. レコード盤上に針先を置き、レコード面とトーンアームが平行になっているかを確認します。

2. 平行になっていない場合は...

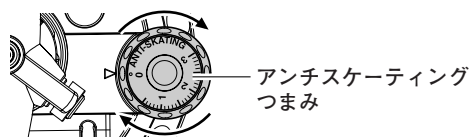
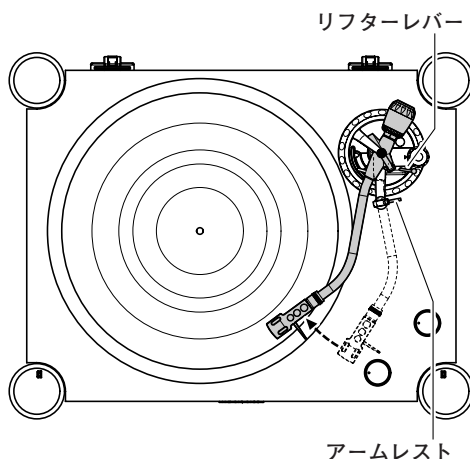
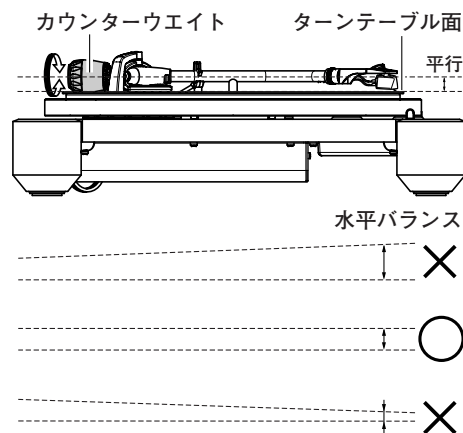
(a) トーンアームをアームレストに戻します。

(b) アーム高さ固定ノブを反時計方向に回して、アーム高さ調整リングのロックを解除します。

(c) アーム高さ調整リングを回して、レコード面とトーンアームが水平になるようにアームの高さを調整します。

(d) 再度、レコード盤上に針先を置き、レコード面とトーンアームが平行になっているかを確認します。

(e) 確認できたら、アーム高さ固定ノブを時計方向に回して、アーム高さ調整リングをロックします。

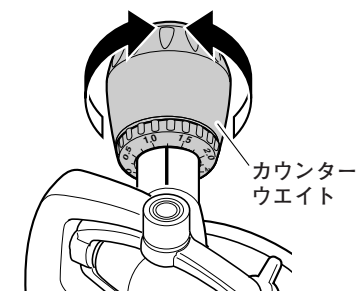
針圧・アンチスケーティングの調整

1. アンチスケーティングつまみを「0」目盛に合わせてください。

2. リフターレバーを上げて、トーンアームをアームレストから外し、ターンテーブルの上まで移動させます。

3. リフターレバーを下げたとき、トーンアームとターンテーブル面が平行になり、水平バランスがとれるようにカウンターウェイトを回します。

ご注意

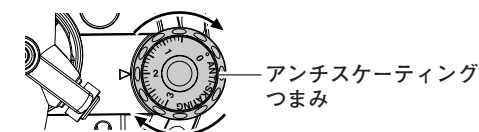
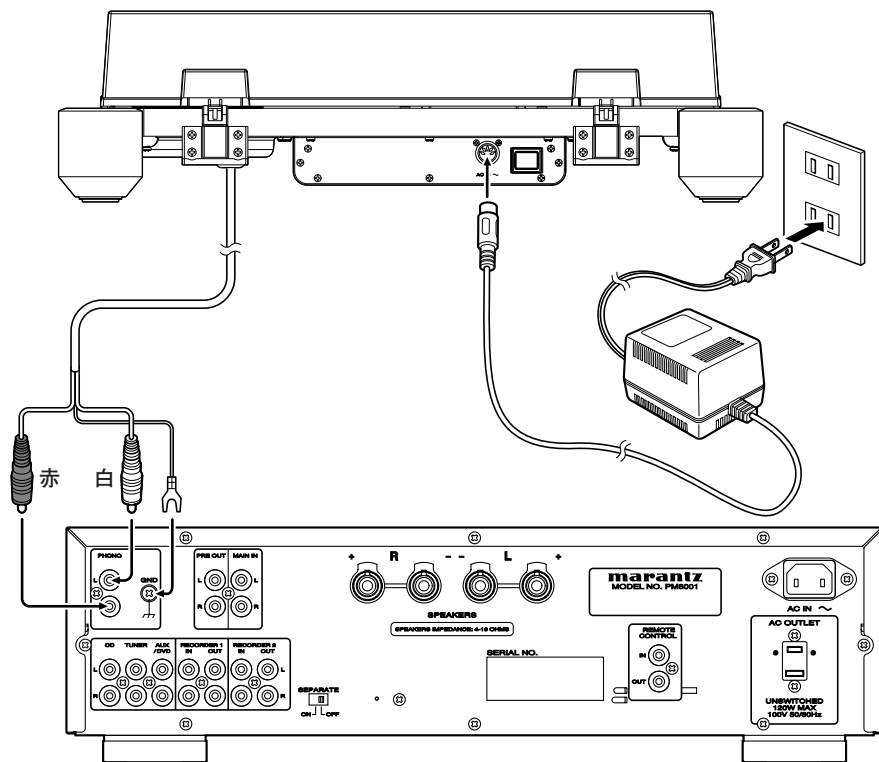
- リフターレバーを下げたとき、カートリッジの針先がターンテーブルシートや本体に触れないようにご注意ください。
- 針カバーが取り外せるカートリッジのタイプのときは、針カバーを取り外してから調整してください。

4. トーンアームをアームレストに戻します。

5. 水平バランスがとれたら、カウンターウェイトが動かないよう針圧調整リングだけを回し、リングにある「0」をトーンアーム後部軸の中心線に合わせます。

6. カウンターウェイトと針圧調整リングを一緒に矢印方向に回し、ご使用のカートリッジの適正針圧値に合わせます。

ご注意

- 付属のカートリッジの適正針圧は0.75～1.5gです。付属のカートリッジを使用するときは0.75～1.5gの範囲に合わせてください。
- 付属のカートリッジにブラシを付けた場合は適正針圧に1g 加圧してください。その場合の適正針圧は1.75～2.5gの範囲に合わせてください。

7. アンチスケーティングつまみを回し、つまみにある数字をカートリッジの適正針圧値に合わせてください。

接続のしかた

ご注意

接続をおこなう前に、ご使用になるアンプの電源をOFFにしてください。

1. ターンテーブルのオーディオケーブルをご使用になるアンプのPHONO入力端子へ接続します。

ご注意

接続する際、L(白色)/R(赤色)を間違えないように差し込んでください。

2. アースケーブル（オーディオケーブルと一緒になっている）をアンプのGND端子(アース端子)へ接続します。

3. ACアダプターのコネクター側をターンテーブルのAC IN 端子に接続します。

4. ACアダプターの電源プラグ側をを家庭用電源コンセント（100V）へ差し込みます。

ご注意

ご使用のアンプ等の電源コンセントを使う場合は、電源コンセントの電力容量が十分あることを確認してください。

操作のしかた

演奏を開始するとき

1. ACアダプターがターンテーブルのAC IN端子、家庭用コンセントに接続されていることを確認します。

2. 後面にある電源ボタンをONにします。スタート／ストップスイッチのLEDがブルーに点灯します。

ご注意

長時間使用しないときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。

3. アンプの電源を入れ、入力を「PHONO」に合わせます。

4. ターンテーブルにレコード盤をセットします。

ご注意

ドーナツ盤を演奏するときは、付属の45回転レコード用アダプターをご使用ください。

5. スピード切り換えスイッチを回して、レコード盤に合わせた回転数に切り替えます。

6. スタート/ストップスイッチを「スタート」に合わせます。ターンテーブルが選択した回転数で回り始めます。

7. リフターレバーを上げてヘッドシェルの指かけを持ち、トーンアームをレコード盤の演奏位置まで移動させます。

8. リフターレバーを下げます。トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコード盤上におりて演奏を開始します。

演奏を終了させるとき、および途中で中止させるとき

1. リフターレバーを静かに上げます。トーンアームが上昇し、針先がレコード盤から離れます。

2. ヘッドシェルの指かけを持って、トーンアームをアームレストまで戻します。

3. リフターレバーを下げ、トーンアームをアームレストに固定します。

4. スタート/ストップスイッチを「ストップ」に合わせます。ターンテーブルの回転が止まります。

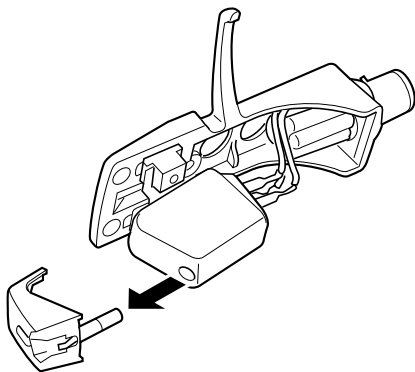
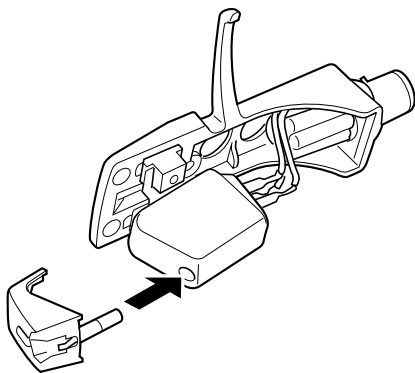
ご注意

- レコード演奏中は、振動および衝撃を与えないでください。
- レコードを交換するときは、ターンテーブルの回転が止まってからおこなってください。
- レコード盤に針をのせるときと針を離すときは、アンプのボリュームを下げてからおこなってください。

保守について

針交換のしかた

交換針は、市販の
『STANTON製　D6800EEEMk Ⅲ』をご指定の上、お買い求めください。

1. 本機の電源スイッチをOFFにします。
2. 古い針を矢印の方向に引き抜きます。

3. 新しい針を矢印の方向に差し込みます。

■ 針先の清掃

針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。針先のゴミは柔らかいブラシなどで軽く取り除いてください。

■ 針の寿命

針の寿命は使用状態などで大幅にかわります。針先が磨耗してくると高音が荒い感じになり、歪みが増し、またレコード盤を傷める原因となります。そうした場合には、速やかに針を交換してください。

■ 注油について

本機のモーターは注油の必要がありません。絶対に注油しないでください。

故障とお考えになる前に

■ 各接続は正しいですか

■ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、下記のチェック項目に従ってチェックしてみてください。
なお、チェック項目にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口または近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ チェック項目

針先がレコード盤におりない。

- トーンアームの高さは正しく調整されていますか。
- 針圧は正しく調整されていますか。
- アームの水平バランスがとれていますか。

音が出ない。

- カートリッジとヘッドシェルの接続は正しいですか。
- オーディオケーブルが正しくアンプに接続されていますか。
- アンプのつまみ類の調節、切り替えは正しいですか。

“ブーン”というハム音が出る。

- オーディオケーブルのアース線をアンプに接続しましたか。
- オーディオ出力ケーブルは確実に接続されていますか。
- ヘッドシェルはロックナットでしっかり固定されていますか。

針とびを起こす。

- 針圧が適正針圧になっていますか。
- レコード盤がそったり、傷が付いたりしていませんか。
- 針先にホコリが多量に付いていませんか。

アームが途中で進まない。

- レコード盤に傷が付いていませんか。
- アームが何かに当たっていませんか。

音が小さい。または、大きい。

- カートリッジの種類（MC/MM）に適したアンプの接続切り替えになっていますか。

仕様

■ ターンテーブル部

駆動方式……サーボ式ダイレクトドライブ
回転数……33 1/3rpm、45rpm、78rpm
ワウ・フラッター……0.1%以下
S/N比……70dB以上
起動時間……0.3秒以内で規定回転（33 1/3rpm時）
ターンテーブル……アルミダイカスト　直径：331mm
モーター……ダイレクトドライブモーター
スピード制御方式……クォーツ制御
負荷特性……針圧80gで0%
回転数偏差……±0.003%以内

■ トーンアーム部

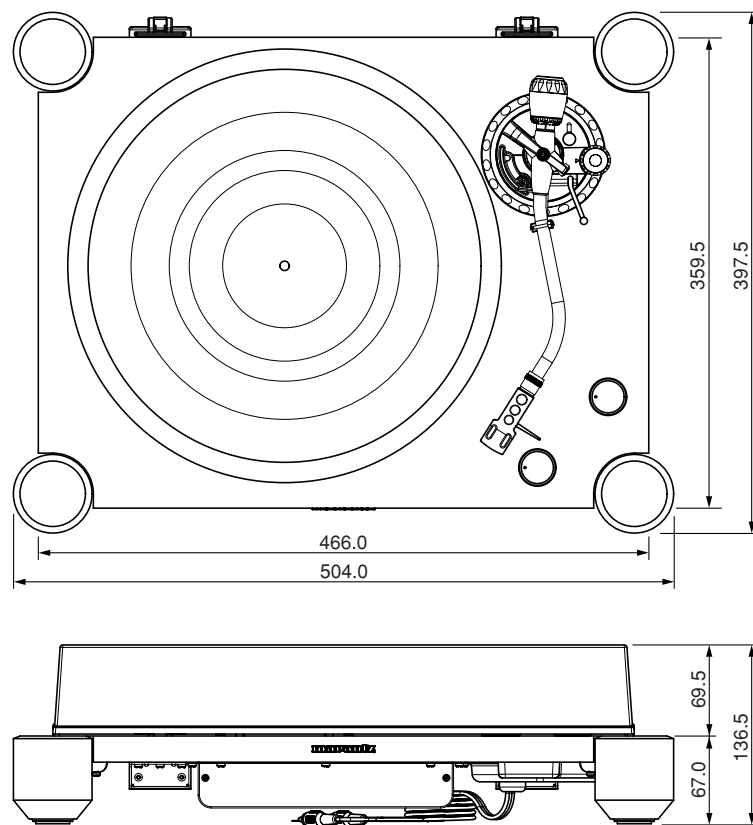
アーム形式……スタテックバランス　S字型パイプアーム
有効長……230mm
オーバーハング……15mm
トラッキングエラー……3°以内
アーム高さ調整範囲……約6mm
針圧可変範囲……0〜4.0g（1目盛　0.25g）
適合カートリッジ自重……14.0〜20.0g（ヘッドシェルを含む）

■ カートリッジ部（STANTON社製 681EEE Mk Ⅲ）

カートリッジ形式……MM型
出力電圧……2.5mV（1kHz）
周波数特性……10Hz〜22kHz
適正針圧……0.75〜1.5g
チャンネルセパレーション……35dB（1kHz）
チャンネルバランス……2dB以下（1kHz）
カートリッジ質量……6.3g
付属ヘッドシェル質量……10.3g

■ 総　合

電源……AC 100V 50/60Hz
消費電力……10W（電気用品安全法による）
最大外形寸法……幅504×奥行397.5×高さ136.5 mm（ダストカバーを閉めた状態）
質量……本体：約10.4kg
ACアダプター……約1.3kg

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※ 本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

その他

■ お手入れ

- セットが汚れたときは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

■ ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を箱に添付しております。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
   お買い上げ販売店又は当社サービスセンターで保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低８年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度”故障とお考えになる前に”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品名　**ターンテーブル**

2）品番　**TT8001**

3）お買い上げ日　**年　月　日**

4）故障の状況（できるだけ具体的に）

5）ご住所

6）お名前

7）電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

〒104-0033　東京都中央区新川 1-21-2　茅場町タワー13F

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

〒104-0033　東京都中央区新川 1-21-2　茅場町タワー13F

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in Taiwan

02/2006　00M09CW851110　mzh-d